

第6回

経済環境小委員会会議録

平成16年2月16日（月）

一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会

第6回 経済環境小委員会

○日 時 平成16年2月16日(月) 午後2時00分

○会 場 木曾川町役場3階 大委員会室

○出席委員(9名)

| | | | | | |
|-----|-------|-----------|------|-------|-----------|
| 委員長 | 井浪 清 | 木曾川町議会議員 | 副委員長 | 木村 貞雄 | 一宮市議会議員 |
| 委員 | 足立 統三 | 尾西市議会議員 | 委員 | 大島千恵子 | 一宮市学識経験者 |
| 〃 | 佐野 豪男 | 一宮市学識経験者 | 〃 | 吉田 弘 | 尾西市学識経験者 |
| 〃 | 上田 芳敬 | 尾西市学識経験者 | 〃 | 五藤 和吾 | 木曾川町学識経験者 |
| 〃 | 五藤 久佳 | 木曾川町学識経験者 | | | |

○議事日程

1. 開会

2. 議題

(1) 協議事項

協議経環第9号 農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い

協議経環第10号 その他事業

3. その他

4. 閉会

○森 輝義事務局長

お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただいまから「第 6 回一宮市・尾西市・木曾川町合併協議会 経済環境小委員会」を開催いたします。

本日の会議に当たりまして、2 号委員の足立委員さんから所用にて少し遅れますとのご連絡をいただいております。従いまして本日の出席状況は、委員全員がご出席予定となっており、小委員会規程第 6 条第 2 項の規定により、開催要件を満たしておりますことをご報告申し上げます。

それでは、井浪委員長さん、よろしく願い申し上げます。

○井浪 清委員長

皆さん、こんにちは。本日の出席ご苦労さまでございます。

当経済環境小委員会は、今日で第 6 回を迎え、付託されておりました提案事項は農業委員会の委員の定数及び任期についてと、その他事業といたしまして競輪事業、この 2 点になりましたが、長期間本当にありがとうございました。

今日も協議していただく 2 件も非常に重大な案件でございますので、またひとつ的確なご決定をお願いいたします。

それでは協議に入りますその前に、先ほどお話がありました足立さん、1 月まで合併協議会の委員でいらっしゃいました尾西市の北岸節男委員さんに変更しまして、本日の委員会から尾西市の 2 号委員として足立統三さんに協議会へ参加していただくことになっておりますが、遅れるということでございますので、見えまして、またそのときにごあいさついただきたいと思っております。

それでは本日の議題の協議事項第 9 号「協定項目 8 農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い」につきまして議題とさせていただきます。

資料の 1 ページ（資料 1）をお開きください。

お持ち帰りになり、検討された結果、ご意見、ご質問等ございましたらよろしく願いいたします。

ご意見ございませんか。

○佐野 豪男委員

先だっの会議のときにも申しましたが、この調整方針で私は賛成でございます。

それで、協定項目とはちょっと外れるかもしれませんが、農業ということでお尋ねしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

合併説明会が各地で行われました。私も数回行かせていただきましたが、農業振興についてもっと話がほしいと、そんな意見が私どもの連区長の経験者の方がおっしゃられまして、私も協議会が経済環境小委員会ということで経済の発展、農業の発展と、農業について当局から、どのような対策をお持ちなのかご説明いただきたいと思うのですが、よろしく願いします。

○井浪 清委員長

事務局。

○日比野 和夫農林水産分科会長

木曾川町の日比野と申します。よろしくお願ひいたします。

新市においての農業施策をどのように考えているかということのお尋ねでございます。農業振興施策につきましては、従来2市1町が取り組んで行っております各種の農業振興事業を引き続いて取り組んでまいりたいと考えております。

また、合併を機にしまして、各地の特色のある農畜産物をブランド化産品としまして広く広げ周知していこうという施策が重要だと考えておりました、2市1町がこれまで取り組んできました実績を踏まえながら、一層充実を図ってまいりたいと考えております。

よろしくお願ひをいたします。

○井浪 清委員長

佐野委員、どうぞ。

○佐野 豪男委員

続きまして、実は新聞でお読みになった方も多いと思いますが、中日新聞の1月24日付の県内版ですけれども、県は国の構造改革特区として2つほど認定を申請したとあります。その中で営農支援特区というような記事が出ておりますが、ちょっとそこら辺もご説明願えたらお願ひしたいと思ひます。

○井浪 清委員長

事務局、どうぞ。

○日比野 和夫農林水産分科会長

ご質問の構造改革特区についてのご質問だと思います。これにおきましては、一般的に農地を取得する場合の下限の要件の緩和についてのご質問ではないかなと察するわけでございますけれども、この件につきましては、申し訳ございませんけれども、現在の段階で2市1町の事務のすり合わせの中では構造特区を利用した、このような政策を調整項目として協議されていない状況でございますので、今後検討する必要がある課題と認識をしておりますので、よろしくお願ひします。

○井浪 清委員長

今後検討ということでございますが、どうぞよろしくお願ひします。

ほかにございませぬか。

ほかにご意見等もないようでございますので、協議事項第9号の調整方針につきましては、原案のとおり承認することにご異議ございませぬか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○井浪 清委員長

ありがとうございました。ご異議なしと認めます。

協議事項第9号は、原案のとおり承認されました。

続きまして、協議事項第10号「協定項目23-29 その他事業について」議題とさせていただきます。

たきます。

資料の2ページ（資料2）をお開きください。

お持ち帰りになり、検討された結果、ご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

五藤委員、どうぞ。

○五藤 久佳委員

前回、競輪事業について赤字とか、とんとんとかいうような内容で、それほど競輪事業の採算が取れて、うまくいっているような状況には見えないということを私は感じたのです。そのあたり議事録にもございますけれども、山口幹事長さんの言葉で、一番最後の方に何らかの手を打つ、あるいは最悪というような答弁をなされていると思いますけれども、私たち木曾川町、あるいは尾西市の方が競輪事業を引き継ぐということで将来的に大きな負担になるということを恐れるわけですけれども、その何らかの手を打つというのをもう少し具体的にお聞かせ願えたらありがたいと思います。

○井浪 清委員長

どうぞ、事務局。

○山口 善司幹事長

まず競輪の現状でございます。

先回もお話をさせていただきましたが、現状では収支は黒でございます。ただ、そうした中で今年度がオールスター競輪という大きな競輪を行いました。特別競輪ということで、これにつきましてはそれなりの利益が出ております。ただ、そういう特別競輪といいますと、やはり数年に1回しか回ってきません。従いまして、何らかの手を打つという一つは、やはりそういう特別競輪の誘致するということが一つですね。

それからもう一つは、最悪の場合も考慮いたしまして、歳入は利益の3分の1を一般会計に繰り出して3分の2を基金として積み立てているところでございます。今年度末で基金の残高が約7億ぐらいになる見込みでございます。今年度が3億4,000万の利益を基金に積み立てようということでございます。一般会計は1億7,000万繰り出す。こうした基金を持ちまして、何年前かちょっと記憶にございませんけれども、経費節減のために職員のリストラをいたしました。これは今後も続けていかなければならない。そういうためのリストラする段階で退職金というものが必要でございますので、そういう経費に充当することもできる。あるいは最悪の場合、今後収支が本当に赤字になって、例えば税を投入しなければならぬような事態になれば、やはり競輪というのは撤退ということもあり得るわけですね。他のところでも競輪を廃止させたところもございます。廃止するには、それなりの、やはりある程度の財源手当てを持っていないと、これもなかなか踏み入れない部分がございますので、それを含めまして、基金として利益を3分2を積み立ててきているということでございます。基本的にはそんな考え方でやっています。

あと、職員の臨時従事員の賃金のカット、これは当然ずっと続けてきておりますし、今年度も10%カットいたしております。そういう経費の見直し、収益が持てるような構造に

していくというためには、経費の節減というのがまず第一でございます。売り上げ増を図っていくというのは、それらのサービスをして、やはり現状なかなか思うように売り上げが伸びないということでございますので、最悪のケースも想定しながら基金を積み立てているということでございます。

○井浪 清委員長

ありがとうございました。

五藤委員、どうぞ。

○五藤 久佳委員

何らかの手を打つということがあって、リストラとか賃金を下げるとかということみたいなのですけれども、もっとほかに競輪を盛り上げていくような、逆に収益を上げるような方向性で、いいお考えというのはないのでしょうか。僕もそうなんですけど、僕の周りの人たち、若い人たちは競輪場に行ったことないのですね。行こうという気持ちがないのですけれども、それが逆に好きになるようなものというのはいえられないのでしょうか。

○井浪 清委員長

事務局、どうぞ。

○山口 善司幹事長

まず若い方の競輪ファンを増やすという、これはご承知のように、競輪につきましては現状、ファンの高齢化が進んできております。一般的にと申しますか、我々いろいろな努力もいたしております。例えば今年度ございましたオールスターにつきましては、青年会議所の皆さん、あるいは商工会議所の皆さん、かなりPRをいたしまして、かなりおいでいただきました。そういう中でまた若い方も、そういう日本の一流選手が集まるということで、若いファン層もそのときはかなり会場内に見られました。ずっとその方々が来ていただけるかといいますと、やはりなかなか難しい。たまには来ていただけたらと思っています。

そうした中で、他場では、ナイトー競輪というのをやっている競輪場が少しございます。これはサラリーマンと申しますか、そういう方を対象にしているわけでございますが、ただ、一宮市競輪においては市街地にあるということで、夜間競輪というのは非常に難しい状況でございます。ファンサービスを図るとともに、そういういろいろな中で、特に大きなレースの場合は、そういう若い方、あるいは経済効果も高いPRをして、来ていただいて、ファンになっていただきたいということをやっておりますけれども、現状なかなか思うように伸びていない、苦しいというのが現状でございます。

○井浪 清委員長

五藤委員、どうぞ。

○五藤 久佳委員

是非、前向きな競輪事業の方をお考えいただくのをありがたいと思います。よろしくお願ひします。

○井浪 清委員長

ありがとうございました。

協議の途中でございますが、本日から2号委員としてご出席していただきます尾西市の足立さんがお見えになりましたので、自己紹介の方をお願いいたします。

○足立 統三委員

最初から遅刻というのも誠にお恥ずかしいことでございます。遅れまして、誠に申し訳ございません。

前任の北岸委員から引き継ぎまして、本日から出席させていただきます足立でございます。何分浅学非才でございますが、また、この経済環境小委員会は事業が随分と進んでしまっているというような格好で、私も資料をずっと見させていただきましたけれども、本当にお役に立つのか立たないのか、残った問題もございまして、一所懸命勉強して、皆さんと一緒に進んでいきたいと、かように思っておりますので、よろしくご指導、ご鞭撻のほどを、この席を借りて、委員長さん初め、各委員の方をお願いする次第でございます。どうぞよろしく申し上げます。

○井浪 清委員長

ありがとうございました。

それでは、小委員会を再開いたします。

ご意見ございませんか。

○大島千恵子委員

競輪場をほかのことに使う場合、たまたま使われるような話をお聞きするのですけれども、あれは場所代なんかも取っているのでしょうか。また勝手に使ってみえるのか。もっと、そういうふうなことを考えたりしているのかということも思うのですが。

○井浪 清委員長

事務局、どうぞ。

○伊藤 多計士一宮市経済部競輪場長

競輪場の使用でございますが、現在まで主に走路を利用した身障者の方々の競技大会、それから市民自転車競技大会に走路は使っていただいております。それから延長でございますけれども、競輪場内自身におきましてはフリーマーケットでございますが、これにお使いいただいております。それから町内の盆踊り大会、それからわんぱくカーニバル、これにつきましては私どもが主催でやっているものでございますが、このような現状は事業をしていただいております。

ただ、料金につきましては、一応これらについては無料ということでお貸しはしております。ただ、経費を伴うものとか、そういうものに対しましてはある程度限定をさせていただきますが、競輪場自身をお使いいただくのは前向きに使用していただくつもりでございます。今後ともそのような状況にさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○井浪 清委員長

ほかにご意見、ご質問等ございますか。

ほかにご意見等もないようでございますので、協議事項第10号の調整方針につきましては、原案のとおり承認することをご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○井浪 清委員長

ありがとうございました。異議なしと認めます。

協議事項第10号は、原案のとおり承認されました。

続いて、3番その他に入ります。事務局より説明をお願いいたします。

事務局、どうぞ。

○森 輝義事務局長

それでは、その他につきましてご説明を申し上げます。

当「経済環境小委員会」につきましては、本日の議題を持ちまして、当初付託を予定しておりました調整項目の協議が、ほぼ終了いたしましたところでございます。従いまして、本日の委員会をもちまして「経済環境小委員会」を一応終了したいと考えているところでございます。

なお、今後の協議すべき事項が生じた場合には、また改めて事前に皆様方には文書にてご通知を申し上げますので、よろしくをお願いいたします。

その他につきましては、以上でございます。

○井浪 清委員長

ありがとうございました。

ということでございまして、6回にわたりまして常時熱心なご討議をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。当小委員会は、本日をもちまして一応……。

佐野委員さん、大変失礼しました。どうぞ。

○佐野 豪男委員

今日の次第にはありませんが、2月4日から6日にファッションデザインセンターでジャパンヤーンフェアというのがありました。これも経済に関することでちょっとお聞きしたいのですが、私も行ってきましたが、大変盛況でした。これもデザインセンターの開館20周年記念行事とかいうことでしたが、また来年も開かれるのか。あれだけの大盛況ならば、もっと広い会場でやっていただきたいなど。私も繊維関係のお仕事を少ししておりますが、大変盛況でしたので、そこら辺、せつかくの場所でございますので、お聞かせ願いたいと思いますが、よろしく願いします。

○井浪 清委員長

事務局、どうぞ。

○野村 治男商工観光分科会長

一宮市の経済振興課の野村でございます。

先ほどヤーンフェアのことでご質問があったわけでございますが、直接的にはF D Cというところがやっております、来年やられるかどうかということについて明確な答えは出せませんが、聞いている限り、大変な大盛況でありましたので、やる方向で進んでいる

ということでお話をさせていただきたいと。

ただ、あくまでもこれは事務局のお話の中ですので、正式な答えではございませんので、そういう点をご理解をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○井浪 清委員長

佐野委員さん、そういうことでございますので。

○佐野 豪男委員

私申し上げたいのは、いわゆる地場産業が低下していると。これから新しい2市1町、新市になりまして経済力をつけていかなければ、いけないと。そういう中で、あれほど大勢のお客さんがいらっしゃるといふことは、まだまだ繊維産業の方も大丈夫と僕は思ひました。

是非、ここには書いてありませんが、全面的にバックアップしていただきまして、産業の振興といふか、経済力をつける方向に持っていただきたいとお願ひしておきたいと思ひますが、よろしくお願ひします。

○井浪 清委員長

ありがとうございました。

これをもちまして当小委員会を終わりますが、ほかにご意見は。

それでは、なければ当小委員会は本日を持ちまして一応終了という形になりますが、合併協議会は今後とも開催されますので、今後とも熱心なご協議をひとつよろしくお願ひいたします。

これをもちまして、本日の小委員会を閉じさせていただきます。どうもご苦勞さまでございました。

午後2時23分 閉会

会議の経過を記載して、相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成16年3月1日

会議録署名委員 井 浪 清 (自署)